



# 平泉水かけ神輿渡御 — 勇壮豪快に —



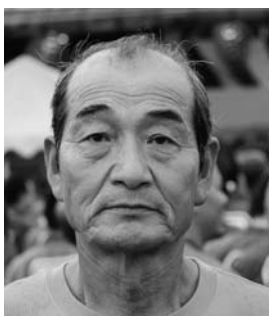
高田松原の松が使用された駒札

平泉水かけ神輿渡御（平泉総社神輿会主催）が9月4日、旧観自在王院庭園を発着点に町内を練り歩きました。例年7月に開催していた神輿渡御は、東日本大震災の影響を考慮して今年9月の開催となりました。

今回の渡御は、世界遺産登録の記念と東日本大震災からの復興を祈願して開催。復興を祈願して被災した陸前高田市の高田松原の松の木が御輿の駒札に使用されました。担ぎ手たちは、浴道からの「清め水」を全身に浴びながら元気に町内を練り歩きました。

また前日の3日には、旧観自在王院庭園で「宵宮」や「ひらいずみ夜祭り」「商工会夜市」が行われ、陸前高田市の水上太鼓が特別参加。復興を誓い力強い演奏を披露したほか、ステージイベントに出演した参加者たちは、あいにくの雨模様にもかかわらず、元気いっぱい演技を披露していました。

**鈴木 武幸さん**  
（水上共鳴会会長・陸前高田市）  
今回は平泉のイベントに呼んでいただきありがとうございます。幸いにも太鼓は無事だったので、いろいろなイベントなどに参加して元気を発信していきたいと思ひます。



**三浦 悠和さん**  
（平泉中学校3年）  
天気が心配だったけど晴れて良かったです。中学生神輿はちょっと重かったけど、みんなと担ぐ神輿はとても楽しく良い思い出になりました。

**堀内 一馬さん**  
（東京都江東区）  
平泉の神輿には毎年参加し、今回で16年目になります。今回は世界遺産登録であったり、震災の復興祈願ということで今までとは違う特別な神輿渡御だったと思ひます。



**千葉 正之さん**  
（平泉総社神輿会）  
台風の影響が心配でしたが、皆さんの熱い気持ちが今日の晴天につながったと思ひます。今回は世界遺産登録の記念と震災の復興祈願の神輿だったので特別な思ひで参加しました。